



(発行)

*働きやすい職場をめざす
 (連絡先) ルネサス武蔵の会
 *東村山市恩多町3-11-18 谷口利男
 *電話・FAX ; 042-394-0937
 *メール; musashinet@jcom.home.ne.jp
 *要望・意見を気軽にお寄せ下さい。

処遇制度を労働者目線での改善を！

ルネサスの第一四半期(4～6月)の連結決算は、売上高が14%も減少している中で営業利益が20%も増益、純利益は41%も大幅増益となり、上半期の9月決算の予想では売上高13%減でも純利益が25%増となる見通しを発表しています。

等級改訂時に大幅減給する！

最高等級である総合職1級の本給上限が43万円に対して新制度のD職の上限が38万9200円と4万0800円も引き下げられ

一時金支給額も大幅格差となる！

一時金支給での評価を5段階で見ると、最高等級のD職と比較すると最高評価が「5」で193万5000円に対し、最低評価「1」が64万5000円と実に3倍の格差が生じています。

最低等級のA職1級と比較すると最高評価が「5」で69万6000円に対し、最低評価「1」が29万8000円と実に2・3倍の格差が生じています。

ロックアップ解除？！

2013年9月末に産業革新機構による出資を受けており、実質的に国有化の状態にある。ルネサスの7割の株式を保有する産業革新機構は、ロックアップ(株式の売却禁止)が解除される今年10月以降、保有株の譲渡など出口戦略を検討する予定だ。そのため、産業革新機構が手放す自社株の取得などを迫られる可能性がある。となれば、黒字体質になってもしばらく成長に回せるキャッシュは限られるかもしれない。

(東洋経済オンライン参照)

ルネサスの役員平均年収は約5倍に！

目を引くのは役員平均年収が1年前から約5倍の8600万円(6945万円増)になった9位のルネサスエレクトロニクス。2015年3月期に業績が上向いたことで、それまで実施していた給与カットをやめ、賞与も復活。給与体系をより業績連動型に近づけ、社員の平均給与も3割近く上がった。業績不振に伴う再生の過程で役員報酬の対象となる役員の数が従来の9人から3人に減ったことや、6月の株主総会後に勇退した作田久男前会長兼CEOに総額1億1300万円(基本報酬4700万、賞与6600万)の高額報酬を払ったことなども要因だ。

2015年8月19日「東洋経済」WEB版より

労働条件を元に戻せに向けて

ルネサスは、昨年10月の処遇制度改定時に全従業員を対象に基本給を一律7・5%減給しました。相対評価で「2」以下の割合を30%割当てる制度であり、社内ではこの9月から「セルフイノベーションプログラム(SIP)」と称して、この30%の社員を対象にパソナに委託指導の受講は、職場ご

とに行われており「人権が守られていない」との告発が届いています。職場内には、差別と選択の処遇制度を廃止して、元に戻せとの声が上がっている事を具現化する事が求められています。

困ったこと心配ごとの相談は、
電機・情報ユニオンへ
 電話 ; 03-6450-1777
<http://www.denki-joho.jp/>

「連合」はどこに

8月30日(日)、与党が強行しようとする安保法制を廃案に追い込むために「戦争させない・9条壊すな、総がかり行動」の大規模なデモが行われ、国会周辺を含め、全国数百か所で、数十万人が参加する異例の規模となりました。

この超党派のデモには、「連合」の支持する民主党から岡田党首も参加しましたが、どういう訳か、「連合」傘下の労組には、何らのアピールも行われていない模様です。

したがって、ルネサス社員の中には、総がかり行動自体をよくご存じない方も大勢いるのではないかと思います。それにしてもなぜ「連合」は沈黙なのか。まさか加盟労組の中に、軍需産業で儲けようとしている大企業の労組があるから反対できないなんて事はないだろうかと疑ってしまいます。(投稿)



ルネサス闘争「8・2支援集会」開催

電機・情報ユニオン東京支部主催で8月2日(日)午後「京都国分寺労政会館」会議室にて、ルネサス闘争「8・2支援集会」を開催し、猛暑の中21職場・15団体から64人が参加しました。(写真上)

米田委員長が「電機リストラとルネサスリストラとの闘いについてこの1年間の成果と課題」にふれた主催者挨拶を行いました。闘争報告は、谷口ルネサス懇代表が「ルネサス武蔵での1年間の闘いと職場闘争の重要課題」について多くの資料を紹介し

しながら行いました。

職場組合員報告では、最初に高崎から武蔵に戻った女性2人の取り組み内容が紹介され、男性2人から「早期退職パワハラ面談の実態、降格・減給のひどい実態」について怒りを込めて告発されました。

日本共産党池内さおり衆議院議員から「人間の尊厳をかけた闘いである」との挨拶。

労働団体からは、東京地評の森田議長、三多摩労連の菅原議長、八王子労連労働相談センターの伊澤所長(元議長)、立川労連の小枝事務局次長の方々。

八王子合同法律事務所の松尾弁護士は、商法改正附則5条に關し、未だに強弁している会社を追求する重要性を指摘。

地元小平から、小平土建山内委員長、共産党小平市議団細谷団長、小平革新懇木村事務局長、小平年金者組合杉下委員長の方々から挨拶を頂きました。電機の職場からは、埼玉電機懇佐野代表、東芝の会鈴木事務局長と羽田副代表、群馬闘争を展開している平井電機・情報ユニオン役員の方々から頂きました。OBを含め武蔵のメンバーが前に並び闘さんが話をされました。

絵手紙でご挨拶



休憩室

◆「東京オリンピック」

日本での開催大丈夫？
白紙、白紙が続いて！

◆「戦争法案阻止」

8・30国会包囲！
広範な国民が参集！

◆「難民危機」

難民が欧州に殺到
国連でも何とかして

◆「派遣法改悪案」

生涯派遣の改悪法
廃案にするしかない！

編集後記

今年の夏は猛暑で大変でした。出勤時からガラガラとした日は大変であったとも思われます。JR国分寺駅から西武バスを利用している出勤者が多くなり、始業時刻を15分遅らせましたが、バス乗車の混雑は想像を絶するものであり、猛暑日に乗車できずに徒歩通勤された方々から「職場について仕事にならなかつた」との訴えが寄せられ、今後の改善につながる労使の話し合いに期待を持ちたいと考えています。(T)